授業記録

授業者の様子（発問・指示・援助）	児童の様子
1　『正直』とはどういうことか考える。	
T：「みなさんは『正直』と聞いて、どんな事をイメージしますか。」 	C：「謝る。」 C：「黙っていたことを打ち明ける。」 C：「素直。」 C：「悪い事をしたときに、直ぐにごめんなさい言う。」 C：「本当の事を言う。」
T：「では、みなさんは、その『正直』な行動がとれていますか。」	C：誰も手を挙げない。
2　範読で、教材「あかいセミ」の内容を確認する。	C：静かに聞いている。
T：「びっしょりと汗をかいて朝目が覚めたとき、ぼくはどんな気持ちでしたか。」 	C：「正直に赤い消しゴムを返そうかな。」 C：「いつかばれてしまう。」 C：「渡そうかな…でも怒られちゃうし、どうしよう…複雑な気持ち。」 C：「盗んだことが頭から離れない。」
T：「『あんなこと』っていうのはどんなこと？」	C：「どうしてあんなことをしちゃったんだろう。」 C：「消しゴムを盗んじゃったことです。」 C：「返さないと嫌われちゃうかも。」 C：「返さないと、もうお店に入れてもらえないかも。」 C：「どんどん落ち込んでいく。」 C：「怖い夢をみるから、早く返さないと…。」
3　児童の意見を整理して板書する。 	
T：「お母さんに消しゴムを盗んだことを正直に話そうとしたとき、ぼくはどのようなことを考えていたでしょう。」 T：「話したときじゃないよ。話そう(強調)としたときだよ。」	C：「返さないと。」 C：「怒られるのが怖い「」 C：「ずっと頭に在るから返そう。」 C：「ずっと返さないと、モヤモヤする。」 C：「そのまま大人になったら、みんなに信じてもらえなくなりそうだから返そう。」 C：「自分で自分の人生を考えたときに後悔する。」

4　児童の意見を整理して板書する。	C：「今しかない。」 C：「もしかしたら怒られるかもしれないけど…(このまま黙っているより)怒られる方がいい。」 C:「他の人から信用されなくなるから、今しかない。」 C:「これからずっと後悔する。だから、言った方がいい。」
T：「お母さんに言わなければ気づかれなかったのに、どうしてぼくは正直に言ったんだろうね。」 5『正直』についてまとめる。	C：「ずっと心に残るから言った方がいい。」 C：「ばれなければいいやと思ってしまう。」 C：「信じてもらえなくなる。」 C：「モヤモヤしっぱなし。」 C：「この先一生後悔し続ける。」
T：「正直とは… ① 間違ったときに嘘をつかない。 ② 自分の気持ちに正直になって行動する。 この２つがあるね。」 6　説話を聞かせる。	C:「自分の意見を言っているときには、周りの人はその意見を尊重することも大切だと思います。」
T：「運動会のとき、旗をどうするか、もめた班がありましたね。(手を挙げさせる)先生は、みんなどうするのかなと思って見ていました。そうしたら、『〇〇ちゃんがそう言うならそれでいいや』ではなく、みんなが自分の気持ちに正直になって、自分達が納得できるまで、話し合いができたのがよかったと思います。それが１つ目。2 つ目は、先週テストを返した時に、先生がおっちょこちょいで間違ったところを自分から	C：教師の話で、その時のことを振り返っている。

『先生ここ間違っています』って云ってきてくれたことです。そのときに、いいなあ、みんなちゃんと正直にできているなあと思いました。」

T：「『正直』にもいろんな種類があります。きょうはその『正直』について今までの生活を振り返ってみましょう。自分自身のことが書きにくい人は、友達から聞いたことや、テレビで聞いたことでも構いません。」<タイマー>

7　机間巡視で、ワークシートが書けているか確認する。

T：「プラス１分時間をとります。」<タイマー>

3　今までの生活を振り返る。

T：「では、発表してもらいますが、言いたくない人は無理に発表しなくてもいいですよ。」

T：「他に、ゲーム以外でありますか。」

T：「時間なので、そこまでで終わりにします。プリントを出してください。」

C：それぞれこれまでの出来事を思い出しながらワークシートに記入している。

C：「前に、友達の家でゲームを何分やったかでケンカになった。本当は(決めた時間より)長くやってたけど。でもそのあと正直に言って、仲直りできた。」

C：「お母さんにやっちゃダメと言われたゲームをやっちゃって、『やってないよー』と、一度嘘をついたけど、あとから白状して、許してもらってスッキリしました。」

C：「前に、学校で友達のカチューシャを折ってしまった。その子には謝って許してもらったけど、家に帰ってから、お母さんに正直に伝えた。」

C：埋められるところまでワークシートを埋め、プリントを提出